

# “描く、造る”ことが心を表現する ～美術による認知症治療のメカニズムを考える～

日本に初めて「もの忘れ外来」を設立した医師、宇野正威氏による特別講演会です。

臨床美術が認知症、特にアルツハイマー病の治療にいかに関わるかについて考察します。

アルツハイマー病は、最近の事柄を記憶できないという記憶障害に始まり、症状は二方向で進行します。ひとつは、記憶障害に続いて、前頭葉・頭頂葉機能が低下し、日常的には手段的・基礎的日常生活動作が著しく障害されます。もうひとつは、生活の記憶と知識からなる自伝的記憶が徐々に失われ、自分が自分であるという感覚が薄くなり、心理症状の原因になることがあります。本講演会では、軽症・中等症認知症の人たちの作品を提示しながら、「描く」、「造る」という創造的活動は、①前頭葉・頭頂葉機能の低下に影響与え得るのか、②記憶の中に埋もれている「思い」をもとに“表現”を促し、自己存在感を保つことは可能か、これらについて検討します。

## 講座概要

【日時】 2018年2月18日(日) 13:30～15:00

【会場】 東京藝術大学美術学部 中央棟 第1講義室 東京都台東区上野公園 12-8

【定員】 150名(定員になり次第締め切り)

【参加費】 ● 臨床美術学会員および日本臨床美術協会員：無料 ● 一般：1080円(税込)

## 講師紹介



うの まさたけ  
**宇野正威**

メモリークリニックお茶の水 顧問医師  
臨床美術学会 顧問  
日本臨床美術協会 顧問

### 【略歴】

- 1960年 東京大学医学部医学科 卒業
- 1961年 東京大学精神医学教室 入局
- 1987年 国立精神・神経センター武蔵病院 部長  
(1994年 “もの忘れ外来” 創立)
- 1998年 同病院(現; 国立精神・神経医療研究センター病院) 副院長
- 2001年 吉岡リハビリテーションクリニック(もの忘れ外来) 院長  
(認知リハビリテーションとして“臨床美術”を行なう)  
東北福祉大学 客員教授、日本臨床美術協会 副理事長
- 2015年 オリーブクリニックお茶の水(現;メモリークリニックお茶の水)  
顧問医師
- 2017年 臨床美術学会 顧問、日本臨床美術協会 顧問

### 【主な著書】

- \*『もの忘れは「ぼけ」の始まりか』  
(1997年 PHP新書036)
- \*『「もの忘れ」の処方箋』  
(2003年「生活人新書」060 NHK出版)
- \*『こころ輝く世界—アートセラピーを楽しむアルツハイマー病の人々』  
(2004年 遥書房)
- \*『認知症読本—発症を防ぎ、進行を抑え、地域で支える』(2010年 星和書店)
- \*『臨床美術：認知症医療と芸術のコラボレーション』(2014年 金剛出版)
- \*『あきらめるな！アルツハイマー病』  
(2015年 主婦の友インフォス情報社)

## 本講演会へのお申込方法

### ① FAX・Eメール・ホームページよりお申込みください。

※必ず件名に「宇野先生特別講演会の申込」とご明記ください。  
お申込みの際には[参加区分・氏名・住所・電話番号・メールアドレス]  
をお知らせください。

#### 【申込先】 臨床美術学会 事務局

東京都文京区大塚 5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル 4階 学会支援機構内

◎ 電話：03-5981-6011 ◎ FAX：03-5981-6012

◎ Eメール：clinicalart@asas-mail.jp

◆ ホームページ ◆ <http://www.clinicalart.gr.jp/>

### ② 一般の方は、参加費を開催日の前日までに

下記口座へお振込みください。

参加費振込口座

ゆうちょ銀行 店名 018 (ゼロイチハチ)

普通 口座番号 3840521

口座名義 リンショウビジュツガッカイ

主催

臨床美術学会、特定非営利活動法人 日本臨床美術協会、株式会社 芸術造形研究所